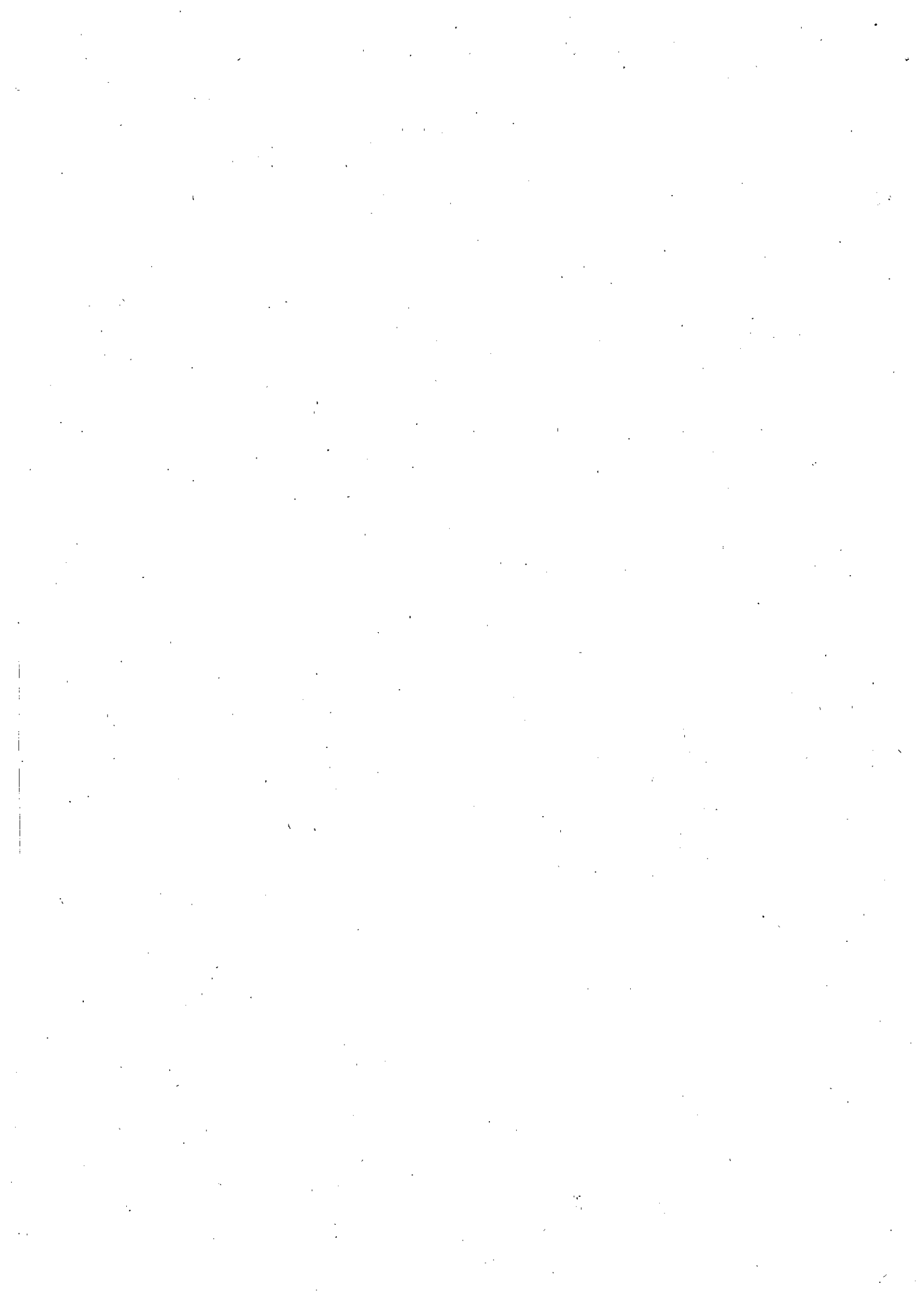


所管事項調査に関する資料

目次	ページ
1 訴訟の現況について .....	1～4
2 被爆樹木パトロールの結果について .....	5～8

原爆被爆対策部

平成29年11月



## 2 被爆樹木パトロールの結果について

### (1) 概要

長崎市被爆建造物等の取扱基準において長崎市が保存対象としているAランク21本及びBランク9本のうち最近保存措置を行った3本を除いた27本の樹木の状況を把握するため、樹木医による樹勢診断及び職員による被爆痕跡の現況調査を行った。

ア 調査期間：平成29年5月～11月

(樹木医によるパトロール：5月から8月)

(被爆継承課職員によるパトロール：5月から11月)

イ 調査対象数量：Aランク18本及びBランク9本

(8ページの一覧表参照)

ウ 調査内容

(ア) 被爆の痕跡の現況調査

(イ) 長崎県樹木医会が定めた簡易樹木診断(病害虫や腐朽、空洞などの目視・打音検査及び枝の伸長や葉の密度、大きさ、色の状況による樹勢調査)



樹木医による  
打音検査の状況

エ 調査結果

※ ()内は要精密診断数 (単位：本)

区分	健全	やや不健全	不健全	計
Aランク	3	14 (2)	1	18
Bランク	1	7 (5)	1	9

「健全」・・・ 自然樹形で樹勢が旺盛

「やや不健全」・・・ 病害虫や腐朽、空洞などが見られるものの一定の樹勢が保たれているもの

「不健全」・・・ 枯死寸前もしくは枯死

## (2) 今後の対応

ア 枯死が確認された被爆樹木について、次のとおり被爆資料としての保存と、平和教材としての現地保存について検討する。

### (ア) 鳥嶋宅カシの木 [Aランク]

原爆被爆の痕跡が明らかで資料的価値が高いが、個人宅にあるため、今後原爆資料館において被爆資料として保存することを含めて協議を行っている。

### (イ) 稲佐国民学校クスノ木 [Bランク]

稲佐小学校の児童の平和学習教材の一つとして活用されていることから、今後も現地に被爆遺構として保存していくため、平成30年度に薬剤の塗布や支柱の設置等の保存処理とシロアリ予防処置を実施する。

イ 更に精密診断を必要とするものについては、今後、空洞や腐朽の状態を超音波検査により確認する。

ウ 被爆樹木の状況を常に把握するため、職員が所有者に定期的に連絡するなど、所有者との連携を密にし、樹勢の状況を把握するほか、台風等の災害時には、通過後の確認を行う。

また、被爆樹木の保存のための注意事項や緊急連絡先を知らせる配布物を作成する。

1 枯死が確認された樹木の現状

(1) 淵町鳥嶋宅カシの木 [Aランク]



※赤で囲んだ箇所が被爆の痕跡。

(2) 稲佐国民学校クスノキの木 [Bランク]  
(稲佐町 11-1・稲佐小学校敷地内)



2 調査結果の詳細

【Aランク】〔○：健全 △：やや不健全 ▲：要精密診断 ×：不健全〕（単位：本）

	名称	爆心地 からの距離	本数	診断結果
1	竹の久保町引地クニ宅柿の木	0.8km	1	△
2	若草町諫山浩司宅柿の木	0.9km	1	△
3	江里町山下宅カシの木	1.0km	2	△2
4	原爆資料館淀川ツツジ・五葉松	1.1km	2	○2
5	油木町池田宅カシの木他	1.1km	3	△1 ▲2
6	浦上第一病院タイサンボク	1.4km	1	○
7	淵町鳥嶋宅カシの木	1.6km	2	△1 ×1
8	大手町井手宅柿の木	1.9km	2	△2
9	御船蔵町川口弥音慈宅ザクロの木	2.0km	1	△
10	若竹町森田隆宅柿の木	2.3km	1	△
11	西北町開稔宅柿・カシの木	2.8km	2	△
	合計		18	

※ 城山国民学校カラスザンショウ（1本）と山王神社大クス（2本）は直近で保存整備を実施してあるため除く

【Bランク】

	名称	爆心地 からの距離	本数	診断結果
1	城山国民学校二股クス	0.5km	1	○
2	竹の久保町引地正則宅カシの木	0.8km	1	△
3	瓊浦中学校クスの木	0.8km	3	▲3
4	淵神社のクスの木	1.7km	1	▲
5	稲佐国民学校クスの木	2.0km	1	×
6	福濟寺のソテツ	2.4km	1	△
7	長崎医科大学附属医院のクスの木	0.7km	1	▲
	合計		9	